

## ◇福岡市の河川と下水道特集◇

7・8 月にかけて、山口議員・黒子議員は下水道局と勉強会を実施し、市の現状と、また現地を視察しました。

本市の河川は、1 級河川がなく全て福岡県と福岡市で管理しています。平成では 2 度にわたり河川が氾濫し水害が発生しました。

そこで市では河川改修事業を推進すると共に治水目的の池を整備してまいります。また万一の対応として校区避難地図も推進しています。



福岡市の下水道普及率は 99.8% で、全国でもトップクラスです。これら施設を維持するためには、博多湾の浄化も、私たち市民の協力があって守られていきます。



(下水道局パンフレットより)

### ☆綿内川排水門整備状況を調査

綿内川と宇美川の合流地点に、宇美川の逆流防止と、綿内川の水を強制排水する水門を平成 21 年度完成目指し整備しています。これは過去 2 回とも宇美川の逆流水が溢れ出して、筥松・原田地域の被害になったため河川の水量調節する機能を果たします。



平成 19 年 8 月の工事状況

また、筥松・原田地域のポンプ場には、避難が必要な時にサイレンで住民に知らせるシステムになっています。



## ☆博多駅雨水整備状況を調査

下水道局では、博多駅地区浸水対策室を設置し、雨水管の埋設と下水の分流化に取り組んでいます。山口議員と黒子議員は現在建設中の雨水管を視察しました。地下 20m に埋設した管は、総延長 996m で博多駅地区の雨水を向島ポンプ場から那珂川まで強制排水します。



雨水幹線の進入口

## シールド工事管内の調査状況



管の内径は、2400mm と大きく管の高低差を利用して「サイフォン式構造」で排水する方式が採られています。また泥質の地盤もあり、難工事ですが水圧の加減で掘削を行うなど、現在の高度技術がいたるところで採用され、工事が進められています。

この事業は平成 20 年 3 月に完成の予定です。

## ☆山王雨水調整池を調査

博多駅東・駅南地区では、大雨時の御笠川水面より地盤が低いため雨水がはけずに浸水しました。そこで浸水対策として、山王公園に野球場には 1 万 3 千 $\text{m}^3$ 、公園地下に 1 万 5 千 $\text{m}^3$ 貯留できる施設が平成 18 年に完成しました。



全体設置状況



山王野球場は約 1.5m の水深



公園地下は長さ 78m 幅 35m 水深 6.4m